



2025 漁 教 第 328 号
2025 全漁学第 328 号
2026 年 4 月 6 日

関 係 各 位

一般財団法人 漁村教育会
理事長 坂本 雅信



全国漁業協同組合学校
校長 坂本 雅信



組合学校基礎コースの 2026 年度授業停止及び 2027 年度学生募集休止並びに
同基礎コースを中心とした本財団の抜本的な改革の取組みについて（ご報告）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本財団並びに本校の教育運営につきましては、平素より格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本財団は、2026 年 3 月 19 日に開催した理事会におきまして慎重に審議した結果、組合学校基礎コースにおける 2026 年度の授業停止及び 2027 年度学生募集の休止を決定致しました。

本校は 1941 年に設立し、「協同組合精神を持った漁協職員の育成」を目的に基礎コースの学生を途切れることなく浜に送り出し、JF グループの人材育成の寄与に努めて参りました。しかしながら、近年の学校運営におきましては、本校を取り巻く社会情勢等の変化が著しく、基礎コースの学生数の減少及びこれに起因する本財団の財務状況の悪化が年々進行し、極めて厳しい状況が続いておりました。

このため、本財団及び本校では、関係先との連携・協力の下、積極的な学生確保の取組み、本財団経常収支の改善などの施策を講じて参りました。また、JF 全漁連においても、上述の状況及び JF グループの運動方針（2025～2029 年度）の「JF の人材確保・育成」に掲げる具体的取組事項を踏まえ、2026 年 2 月に「全国漁業協同組合学校のあり方検討にかかる小委員会」（JF 全漁連小委員会）が設置され、系統協議が進められているところです。

このような中、2026 年度基礎コースについては、残念ながら入学者が 0 人という結果となり、4 月からの同コース授業を 1 年間停止せざるを得なくなりました。JF 全漁連小委員会からも、「2027 年度学生募集の休止もやむを得ない状況にあり、当財団の抜本的な改革が必要」との伝達を受け、今般、標記決断に至った次第です。

今後は、この機会を有効活用し、基礎コース改革を中心とした抜本的な学校運営のあり方について JF 全漁連小委員会事務局と密に連携・協働して検討し、2026 年度上期を目途に改革プランの策定を進めて参る所存です。

なお、2026 年度においては、改革プラン確定までの暫定措置として、基礎コースに相当する短期の基礎研修をパイロット研修として実施し、その成果を改革プラン策定に繋げていくことと致したく存じます。

本校がこれまで学校運営を継続できましたことは、ひとえに多くの JF グループ、水産関係団体、関係者など皆様方のご協力・ご支援の賜物と、心より感謝申しあげる次第です。

今後も本財団として JF グループの人材育成の強化に取り組んで参りますので、今般の標記決定に何卒ご理解賜りますとともに、引き続き皆様方のお力添えをいただきたく、重ねてお願い申し上げます。

敬具